

# 生徒指導研究

## 1 中・高校生徒会による購買自動販売機の改善要求運動について

齊 藤 真 子 川 田 基 生  
飯 島 幸 久 横 地 悦 武  
持 山 育 央 大 口 悦 子  
山 田 孝 高 比 良 幸 治

【抄録】購買横の自動販売機は三種類（牛乳・コーヒー牛乳・ウーロン茶）しかないので、その種類を増やしたいという生徒の不満に対して、高校生徒会が取り組んだ約半年間にわたった自動販売機改善運動の経過報告。

【キーワード】生徒会活動、購買自動販売機改善

### 1. はじめに

本校の購買横に設置してある自動販売機は、10年ほど前に、歯科医師の父兄から「成長期にある中学生・高校生の歯の健康を考慮すると、ジュース類がおいてあるのは、よくないのではないか」という指摘があり、牛乳・コーヒー牛乳・ウーロン茶の三種類となっていた。

一方、駅やコンビニエンスストアなど、生徒が登校時に利用できる自販機は年々増え続け、そこでは多くの種類の飲料が販売されている。そして、生徒が部活動の試合などで他校へ行くと、高校では多種類の飲料を販売している自動販売機が置かれ、それらを利用することができるので、自分の高校でも自動販売機について、「せめて種類を増やすなど、どうにかならないか」という生徒の声があがるようになった。

また、購買横の自販機の種類が少ないので、わざわざ登校時にジュース類を購入し、教室に持ち込むので飲用後の缶・ビン類のゴミ処理も問題になっていた。

しかし、ジュースを廃止した以前の経過があるために、後期高校生徒会が、購買横自動販売機改善の意見を取り上げ、アンケートを実施し、各方面に働きかけたが、それぞれの立場の意見の調整とまとめるのには時間がかかった。

さて、高校後期生徒会執行部は、時期的に新学年にわたったにもかかわらず、責任を持って活動を継続し自主的・積極的に取り組み、購買横の自動販売機の改善に努力した。

### 2. 中・高生徒会による「購買自動販売機改善」にむけての経過

1994年1月

1993年度後期高校生徒会執行部が、「購買のパンと自動販売機の改善のためのアンケート」を実施した。

〈資料1〉

購買についてのアンケート

H6. 1. 29 高校執行部

高校執行部では購買の自販機とパンの改善について取り組んでいくために、皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。あてはまると思うものに○をつけてください。

Q1 購買の自販機と飲料に満足していますか。

YES NO

Q2 NOと答えた人に聞きます。自販機と飲料の  
どういう点が不満ですか。

価格 品質 品揃え ボリューム 味  
その他 ( )

ありがとうございました

また、購買は中学生も利用するので、高校執行部から中学生徒会に話をし、同じアンケートを実施することになる。

〈資料2〉

購買についてのアンケート H6. 2. 15 中学生徒会	
高校執行部より購買の自動販売機の改善についての案が持ち上がり中学生徒会も一緒に取り組んでいくことにしました。よって、皆さんの意見をお聞きしたいと思います。あてはまると思うものに○をつけてください。	
Q1	購買の自販機と飲料に満足していますか。 YES NO
Q2	NOと答えた人に聞きます。自販機と飲料の どの点が不満ですか。 価格 品質 品揃え ホリューム 味 その他 ( ) ありがとうございます

1994年3月14日 「缶ジュース自動販売機の設置について」提案

「アンケート」結果より高校生徒会と中学生徒会が合同で「缶ジュース自動販売機設置について」合同議会を開き問題点を話し合う。

〈資料3〉

缶ジュース自動販売機の設置について H6. 3. 14 高校執行部 中学生徒会	
1 趣 旨	以前より不満との声があがっていた購買の自販機について、先にアンケートを行ったところ、全校生徒の9割以上が自販機に不満をもっていることがわかりました。よってその際希望の多かった缶ジュースの自販機の設置を提案しようと思います。
2 利 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルが可能</li> <li>・温かい商品が販売できる。</li> <li>・商品がハラエティーに富む。</li> <li>・品質が一定である。</li> <li>・商品の取り扱いが便利</li> </ul>
3 問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状ではゴミの分別が困難である。</li> <li>・栄養価が牛乳に比べ劣る。</li> </ul>
4 対 策	各教室に缶専用のゴミ箱設置

アンケート結果

	J1A	J1B	J2A	J2B	J3A	J3B
Q1. YES	0	3	3	3	0	3
NO	38	32	31	32	33	30
Q2. 価格	12	8	14	10	16	10
品質	18	4	11	6	9	10
品揃え	37	32	29	32	31	26
ホリューム	14	7	14	8	13	12
味	18	9	10	9	13	11
その他	メーカーをかえてほしい、すぐ売り切れる、温かいジュースがほしい、缶ジュースをいれてほしい、自販機がすぐ壊れる、種類を増やしてほしい、賞味期限の切れたものが多くある、自販機を増やしてほしい、					
	H1A	H1B	H1C	H2A	H2B	H2C
Q1. YES	4	3	4	2	5	0
NO	37	38	40	29	27	37
Q2. 価格	8	11	15	6	8	6
品質	8	11	10	2	5	10
品揃え	32	35	37	27	26	32
ホリューム	9	9	11	3	7	5
味	8	14	10	7	6	9
その他	メーカーをかえてほしい、すぐ売り切れる、温かいジュースがほしい、缶ジュースをいれてほしい、自販機がすぐ壊れる、千円札をつかえるようにしてほしい、賞味期限の切れたものを売らないでほしい、自販機を増やしてほしい、					

議会で問題点として指摘されたもの

- (1) 提案理由が不鮮明「アンケート」結果からなぜ缶ジュース自販機の設置になるのか。きちんと説明していない。他の方法は？
- (2) 「缶」は良くない。リサイクル・健康面（アルミ缶）の問題点。教室のゴミ箱については対策が考えられているが、どのように徹底するか学校全体の清掃問題を考える。

- (3) 中学生の父兄から保護者会などで「ジュースの飲みすぎ (こづかいがなくなる・糖分の取りすぎ) は身体に良くない」との意見がでて、部活動後にあまり飲みすぎないように注意することがあった。
- (4) 「飲みすぎ」の問題は、生徒ひとりひとりの判断が大事だ。健康面への影響についても同じだ。身体のこと・成長期のことを考えるなら個人の判断で牛乳を飲めばよい。

3月17日 合同議会へ「再案」提出  
(資料4)

缶ジュース自動販売機の設置について (再案)

H6. 3. 17 高校執行部  
中学生徒会

1 趣 旨 以前より不満との声があがっていた購買の自販機について、先にアンケートを行なったところ、全校生徒の9割以上が自販機に不満をもっていることがわかりました。よって、その際、賞味期限が切れた物を売らないで欲しい、温かい物、缶

(資料5)

**保健だより** No.1 H6.5.13(金)発行  
=5月号= 高校保健委員会

「清涼飲料」について

いつもなにげなく飲んでいる「清涼飲料」。いろいろな面から私たちに影響を及ぼしています。

「清涼飲料」という水は...

(1) 石砂糖がこんなに入っている!  
清涼飲料1缶(250ml) 飲むと、20~30gの石砂糖分をとることになります。

(2) 石砂糖の1日の摂取量の目安は、20gです。

「清涼飲料を飲みすぎると...」

- ・食欲を失わせる  
清涼飲料を飲むと、含まれている糖分の作用により食欲を失わせてしまいます。

飲み物に含まれる砂糖の量

商品名	100cc中	1缶中	商品名	100cc中	1缶中	商品名	100cc中	1缶中
三矢サイダー	7g	34g	ブルーバー	14g	28g	ネクター	14g	35g
リボンソフト	11	36	ファンタ	14	28	HI-C	12	30
キリンレモン	10	25	ミリンダ	14	34	キリンオレンジ	14	28
スプライト	11	26	果汁入り	13g	33g	サントリーオレンジ	13	30
セブンスター	11	23	フラッシュ	13g	33g	アップルオレンジ	10	25
ラムネ	11	27	サンストソーダ	13	32	アップルオレンジ	7	14
コーラ						コービー牛乳		10~20g
コカ・コーラ	11g	21g				フルーツ牛乳		10~20g
ペプシコーラ	12	30				ヤクルト		12g
						ヨーグルト		15

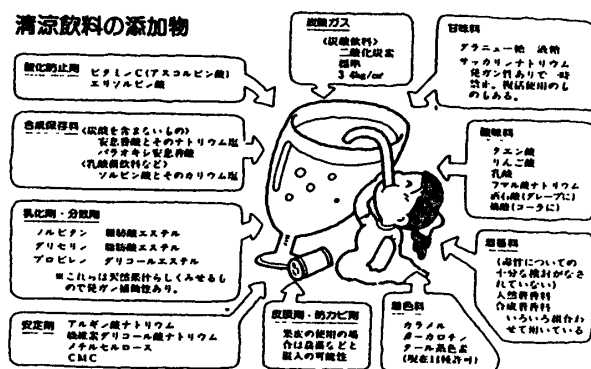
- ジュース、炭酸飲料が欲しいとの意見が多数あったので缶ジュースの自販機の設置を提案しようと思います。
- 2 利 点
  - ・リサイクルが可能
  - ・温かい商品が販売できる。
  - ・品揃えが豊富
  - ・品質が一定である。(賞味期限が長い)
  - ・商品の取り扱いが便利
  - ・無断外出が減る
- 3 問題点
  - ・現状ではゴミの分別ができていない。
  - ・栄養価が牛乳に比べ劣る。
- 4 対 策
  - ・各教室に缶専用のゴミ箱設置
  - ・生徒会による分別の徹底 (一回程度の見回り)
  - ・分別が不徹底の場合は自販機を撤去
  - ・プリント・ポスターを使った啓蒙活動の実施
  - ・牛乳の自販機は設置後も残る予定なので栄養価は各自の判断にまかせられる

採決結果

賛成2 反対2 保留20

こんな害も...  
ビタミンB1不足...→ 疲れやすい、脚気、集中力欠く  
糖分過多不足...→ 肥満、むし歯  
カルシウム不足...→ 化のうがなおりにくい、骨血が弱やすい。

(2) 添加物も入っている ...10種類も入っています。



(3) アルコールも入っている

清涼飲料とアルコール

品名	アルコール含有量	アルコール含有量	アルコール含有量	アルコール含有量	アルコール含有量	アルコール含有量
三矢サイダー	0.35wt	1.95wt	0.75wt	0.3wt	0.17wt	0.37wt
リボンソフト	0.35wt	1.95wt	0.75wt	0.3wt	0.17wt	0.37wt
キリンレモン	0.35wt	1.95wt	0.75wt	0.3wt	0.17wt	0.37wt
スプライト	0.35wt	1.95wt	0.75wt	0.3wt	0.17wt	0.37wt
セブンスター	0.35wt	1.95wt	0.75wt	0.3wt	0.17wt	0.37wt
ラムネ	0.35wt	1.95wt	0.75wt	0.3wt	0.17wt	0.37wt

清涼飲料の中にはアルコールの入っているものもある。1本では少なくても、1日何本も飲んでいると害をまねくこともある。

(4) 清涼飲料水についてのまとめ

Q. 清涼飲料に含まれる添加物の中マ、一番多い糖分の量は?

A.

オレンジ(瓶果汁) 1番 約12% 250ml缶・約42g	グレープ(瓶果汁) 1番 約12% 250ml缶・約42g	糖分量
ヨーグルト 約11% 250ml缶・約39g	オレンジ(瓶果汁30%) 約10% 250ml缶・約33g	フルーツミックス(瓶果汁10%) 約10% 250ml缶・約33g
缶コーヒー 約8% 250ml缶・約18g	菓茶(缶) 約7% 250ml缶・約15g	
スポーツ飲料 約3% 250ml缶・約9g	1缶に含まれる糖分量 ※清涼飲料には糖分濃度が表示されているものもあるので計算して糖分量をはかる。	

表を見みると  
果汁飲料の場合  
は果汁分の%が  
多くなるにしたが  
って糖分量は減ら  
されます。



「スポーツ飲料」という水は… ホカリスエット etc…

糖分は比較的低いけど、多量のビタミン類が添加されている。

\*ビタミンC… とりすぎた分は排泄されるが、腎結石の危険性がある。

\*ナトリウム… 日常的に飲むのは食塩のとりすぎが心配。

清涼飲料水とは…  
食品衛生法では、乳・乳飲料  
発酵乳・乳酸菌飲料・アルコ  
ール1%以上を含んでいるものおよび  
医薬品以外の飲み物をいい、  
その種類は多い。よく飲まれて  
いるものは炭酸飲料・果実  
飲料・スポーツ飲料・繊維入り  
飲料などである。

スポーツ飲料の例 (100ml中、粉末のものは  
使用濃度で換算したとき)

品名	メーカー	糖質	ナトリウム	ビタミン
ポカリスエット	大塚製薬	25.5	25	0.2
アミノアシト	大塚製薬	12.4	2.5	0.25
アミノアシト	大塚製薬	45.4	30.8	0.3
アミノアシト	大塚製薬	3.6	10.6	0.01
アミノアシト	大塚製薬	25.0	10.2	0.04
アミノアシト	大塚製薬	20.8	10.2	0.08
アミノアシト	大塚製薬	31.0	25.0	0.02
アミノアシト	大塚製薬	0.0	7.2	0.04
アミノアシト	大塚製薬	22.6	20.1	0.07
アミノアシト	大塚製薬	55.2	21.2	0.04
アミノアシト	大塚製薬	37.6	13.4	0.11

東京都消費生活センター調べ (S57)

清涼飲料水を飲みすぎないためのチェックポイント

1. 清涼飲料水を水がわりにしない。
2. 流行ヤムードにふりまわされない。 \* これらの7つのことを守る。糖分のとりすぎなどに気を付けてください。
3. 食事の前に飲まない。
4. 冷やし過ぎない。
5. おやつには牛乳などをとる。
6. 買う時には表示をよく見る。
7. コップに耳分けして飲むように。 = おわり =



学校の自販機の「コーヒー牛乳」の糖分量は18~29g、飲み過ぎに注意してください。

HIC 保健委員・岡口実香・浅井紀子

1994年4月

新学年での保健委員会(健康管理)・生活委員会(ゴミ処理)に「缶ジュース自動販売機設置について」の意見を集約してもらうように依頼。

- ①中学校には自販機は設置されていない。
- ②缶の安全性(アルミの溶解)・炭酸系ジュース(骨の発育・カルシウムを溶かす)の健康面への影響
- ③校内のゴミ処理
- ④現状調査

1994年5月

1994年度前期高校生徒会執行部成立。執行委員長は1993年度後期高校生徒会執行委員長が立候補する。後期に引き続き1994年度前期高校生徒会執行部は「購買自動販売機の改善要求運動」に取り組む。

1 前期高校生徒会執行部への「缶ジュース自動販売機設置について」の生徒部の見解

現状

購買にある自販機

- ①紙パック(焼却可能)
- ②3種類のみ(牛乳・コーヒー牛乳・ウーロン茶)

③冷蔵

アンケートによる改善点

- ①品切れ多い
- ②賞味期限切れあり
- ③冬期はあたたかいものが欲しい
- ④種類を増やして欲しい
- ⑤自販機の故障あり

缶ジュース自動販売機への賛成意見

- (1)缶ジュース自動販売機を設置すれば、缶ジュースの教室への持ち込みがへる。
- (2)校内のゴミ問題対策を生徒会が中心になってしっかり考えている。

缶ジュース自動販売機への反対意見

- (1)缶ジュースの健康面への影響
  - ①缶(アルミなど)は安全でない
  - ②ジュースなどの飲みすぎは成長期の中学生の身体的発育を阻害する。過去に歯医者さんからの指摘(虫菌が多い)がなくなり、炭酸飲料は骨に良くない。(カルシウムを奪う)

(2) 缶ジュース自動販売機を新しく設置することによるゴミ問題の増加

- ① 教室に空き缶が放置される場合の対策  
(現状のゴミの量でも掃除のおじさんが大変)
- ② 教室や廊下の床にこぼれたジュースの掃除  
(現状より大掃除の回数を多くするなどの対策が必要)

(3) 公立中学校に缶ジュース自動販売機の設置はない  
その他の意見

- (1) 缶ジュース自動販売機の生徒利用時間帯について
- (2) 教室へのジュース類の持ち込みの是非
- (3) 空缶対策・リサイクルの方法について
- (4) 生活委員会・保健委員会との意見調整
- (5) 購買の業者の方を通じて考える
- (6) 父兄の意見 (おこづかいの増加, 健康面への心配)
- (7) 校医さん・中学担任会の意見

## II 生活委員会の見解

購買への缶ジュース自動販売機の設置は缶の回収(業者)と、リサイクル(アルミ)の徹底がされればよい。また缶ジュース自動販売機については、生徒が利用時間帯をきちんと守ることができるよう生徒会で対策が取られれば設置してよい。学校外からのジュースなどの持ち込みが減るだろう。

## III 保健委員会の見解

健康面を考慮すると缶ジュース自動販売機の設置は良くない。

許容範囲については成分表で検討することが必要。

1994年5月16日 合同議会へ「再々案」提出

(資料6)「再々案」

### 購買自動販売機について (再々案)

H6. 5. 16 中学生徒会  
高校執行部

1 趣旨 以前より不満との声があがっていた購買の自販機について、先日アンケートを行なったところ、全校生徒の9割以上が自販機に不満をもっていることがわかりました。  
そこで、缶ジュースの自販機の設置を要求しましたが、缶ジュースでは健康面、ゴミ対策での問題が大きいため、それらの問題のない現状の自販機の取扱品の改善を再要求しようと思います。

### 2 缶の問題点

- ・ 缶ジュースの健康面への影響
    - ① アルミ缶は安全でない
    - ② 炭酸飲料は骨によくない (カルシウムを奪う)
- 飲み過ぎは成長期の中学生の身体的発育を

阻害する

### ・ 缶のゴミ問題

- ① 現状ではゴミの分別ができていない
- ② 生徒会、執行部、生活委員会などのしっかりしたゴミ問題対策が必要

### 3 自販機改善の利点

- ・ 健康面について
  - ① 炭酸飲料がない
  - ② 栄養価はコーヒー牛乳程度
- ・ ゴミ対策について
  - ① 特別なゴミ問題対策が必要でない
  - ② 紙パックは焼却できる
- ・ 品揃えが豊富になる
- ・ 無断外出が減る

### 4 改善点

#### ◀現状▶

3種類のみ

牛乳 コーヒー牛乳 ウーロン茶

#### ◀改善後▶

11種類

牛乳 コーヒー牛乳 ウーロン茶

イチゴ牛乳 フルーツ牛乳

オレンジ りんご ぶどう うめ

グレープフルーツ ヨーグルト

※上記の中から、アンケートを実施し購買の業者の方、教官とも話し合い、種類を選んでいく。

### 「再々案」での変更点

- ① 缶 → 紙パックへ
- ② 健康面への配慮 炭酸飲料はなし  
種類については3種類から11種類と増やすが、成分表を業者から取り寄せ確認し、現状のコーヒー牛乳以下の糖分を目安にする。
- ③ 購買に納入する業者の方をお願いする
- ④ ゴミ対策の大幅な変更はなし

1994年6月6日 教官会議提出 承認

(1) 中・高別に朝礼で執行部・生徒会による報告

- ① 自販機利用状況調査
- ② 執行部・生徒会によるパックゴミ・掃除点検実施
- ③ 執行部報作成 経過報告と自販機の利用についての注意とお願い

(2) 業者の契約期間は三月までなので、自販機の業者を変更する場合は二学期中に準備する必要がある。

1994年7月

購買横に新しい自動販売機が一台増える。夏休み前の暑い時期であり利用者は多い。

### 3. 中・高生徒会による購買自動販売機改善運動の指導について

- (1) 後期高校生徒会執行部による購買横に設置された自動販売機改善の意見を、中・高合同で提案するために、中学生徒会と事前の話し合いを持ち、アンケートの段階から中・高の生徒会が調整して実施するように指導したこと。

アンケートの実施段階から中・高合同の話し合いを何回か持ったので、アンケートの集計をはじめ、中・高の生徒会の連携や合同議会などスムーズにいった。

- (2) 高校生徒会執行部は炭酸飲料の要望も多かったので、自販機を取り扱う業者のいくつかに連絡し、自主的に直接販売員にあたって、缶ジュースの成分や価格や品揃えや味や諸経費などの検討をした。

しかし、最終的には、購買に納入している業者に一本化した。先年度に業者とは次年度についての契約がかわされているためである。

- (3) 保健委員会と保健の先生に依頼して、中学生・高校生の健康管理の観点から適切なアドバイスしてもらったこと。

保健委員会発行の「保険たより」でジュース問題をとり上げる。一方保健委員会は成分表を取り寄せて検討することを条件とした上での消極的な賛成であった。

そして自販機の飲料の種類を決定するために、成分表のチェックを事前に保健委員会とともにした。

- (4) 生活委員会に学校全体のゴミ処理問題を視野に入れて意見を聞いたこと。

生活委員会は「自動販売機」の改善がゴミ処理問題の解決になることを期待して賛成の立場であった。また掃除のおじさんの毎日の苦勞を知ったことやゴミの分別がなされているクラスとなされていないクラスがあるなどの点に気付いた。

- (5) 高校生徒会執行部が中心となってアンケートを全校生徒に実施し、購買横に設置された自動販売機についての問題点と改善点を集約した後、で中学生徒会・生活委員会・保健委員会・業者・購買など、いろいろな立場の人の意見を、よく聞き、その後、合同議会の場での話し合いを重ねたこと。

- (6) 「途中どうなるかと思ったがみんなが利用しているのを見るとやってよかったと思う」というのが生徒会の執行部員達の感想であった。そして、自動販売機の利用者の増加は決算時の購買の増収につながった。

### 4. 終りに

この「購買自動販売機の改善」への生徒会の約半年間にわたる取り組みは、途中いくつかの方向転換や軌道修正をしながら、これから暑くなるという7月にやっと生徒みんなが利用できることになった。それが、執行委員長をはじめ生徒会のみんなにとってはいくことであった。

実際には、彼らはその頃、九月に行う学校祭に向けて、その準備に毎日忙しく過ごしていた。

例年の執行部より、そのテーマ「殻やぶりー学校祭改革宣言ー」にみられるように、新鮮味のある企画への取り組みという意欲と実行力のある執行部員と実行委員が執行部に集まっていた。執行委員長はことあるごとに「いままでよりでっかく、だれもがあっと驚くものを」と言い続けた。たれ幕・門作り・体育祭の復活・舞台コンからHR企画への変更・中西選手の公演会など、中学・高校の合同企画を増やしたりと、例年とは一味違ったものが多くあった。

さて「購買自動販売機の改善」への取り組みは、新入生歓迎会・球技大会・などの学校行事とは違って、例年とおりのマニュアルが作られているものではない。

1993年度後期生徒会は、任期の半ばになってから、自分たちの任期の間には結論が出せるのではくらの見通しで、「購買自動販売機改善」の意見を取り上げ、活動をした。

しかし、その取り組みが四月に持ち越したので、引き続きやらないと「購買自動販売機の改善」は、中途半端になってしまうという危惧から、再度、執行委員長が立候補し、執行部全員で取り組んだことが、この「購買自動販売機の改善」の結果に結びついたのである。

そういう意味で、経過を振り返ると問題点の確認と解決方法やそれへの対策が、生徒会を中心の一つ一つ積み重ねられてきたことがわかる。

そして、一学期の終りに「購買販売機の改善」に結論がでたことが、1994年度前期生徒会の例年よりスケールの大きい「学校祭への取り組み」へとつながっていったのである。「次は学校祭だ」が合言葉になった。「購買自動販売機の改善」をみんなでやりとげた力が「学校祭への取り組み」でも、新しいことに積極的に取り組む姿勢と実行力に結びついたのであった。

「購買自動販売機の改善」への取り組みは、それ自体はささやかな取り組みではあるが、中学・高校両方の生徒会の地道な取り組みの一つとして、評価ができる。その中で一人一人が培った力は他のものに対してへも波及し、応用できる経験と力である。

(文責 齊藤真子)